

平成26年度 原町第三小学校 学校図書館支援活動記録



南相馬市立中央図書館
学校図書館支援員 込堂小百合

1 学校の概要

(1) 学校の紹介

市内でも二番目に児童数の多い小学校である。東日本大震災の影響により、本年度から耐震工事が行われている。

特色豊かな二つの学校図書館が配置されており、特に9類と絵本のみを配架した「物語の部屋」は、畳が敷いてあり、学校内でも独特の空間をもっている。

平成26年度児童数

1年	2年	3年	4年	5年	6年	合計
53名	38名	43名	51名	39名	56名	280名

(平成26年5月末時点)

学校派遣日数 水・木・金曜日 週3回

図書担当教員 津久井智美講師・佐藤由子教諭・門馬千玲教諭

学校図書館蔵書数(4月当初) 23,590冊

学校図書館受入冊数(3月末時点) 548冊

うち 市費購入冊数 240冊 389,459円

寄贈資料点数 315点

2 本年度の課題

昨年度は、図書室内の雰囲気を変えたことや、さまざまなイベントなどを通し、学校図書館に興味を持ち始めた児童が増えた。

しかし、本を手にとりカウンターへとやってきても、貸出や返却の手順がわからず、とまどう児童も見受けられていた。そのことをふまえて、今年度は年度初めに図書館の貸出方法や室内でのルールなどの周知及び徹底が課題である。

3 活動の方針

年度の初めに、早速担当教諭との打ち合わせが行われた。校内貸出は例年通り運動会終了後の5月21日からとなった。その間にオリエンテーションを行い、ルールなどを学べるようにする。

貸出の取り決めとして「1人1冊。期間は1週間」支援員が出勤する曜日の業間休みと昼休みの他、声をかけてくれた時はいつでも対応を行う。図書委員会のカウンター対応は、週1回、昼休み時間となる。

図書館行事については、読書週間にあわせたワークショップの開催などを実施する。また、地域の読み聞かせボランティアの協力が今年度も得られることとなり、活気のある活動が期待される。

1学期終了後からスタートする校舎の耐震工事に向けて、汚損・破損図書は教室移動の際に負担とならないように廃棄作業を行う。

学校図書館年間活動計画(スケジュール)

月別	蔵書管理・図書活用・読書指導	児童図書委員会活動内容	市立図書館との連携
4月	<ul style="list-style-type: none">学校図書館活動計画を担当教諭と打合せ開館準備 学級文庫の入替館内環境構成 委員会活動指導今年度より購入する逐次刊行物の確認各クラスに学校図書館の貸出をメインとしたオリエンテーション延滞図書の督促(前年度貸出分)	<ul style="list-style-type: none">組織作り年間委員会活動計画開館準備	<ul style="list-style-type: none">第1回学校支援会議(4月18日)学校図書館支援員(中学校担当)の学校図書館見学受け入れ

5月	<ul style="list-style-type: none"> ・校内放送による読み聞かせ開始 ・月1回支援クラスでの読み聞かせ開始 ・館内環境構成 ・貸出開始 ・読書クラブ活動指導 ・読み聞かせボランティア開始 ・今年度購入図書の打ち合わせ ・杉並文庫リスト作成 	<ul style="list-style-type: none"> ・貸出当番開始 ・低学年への読み聞かせ用の本の選書と練習 	<ul style="list-style-type: none"> ・図書の借用開始 ・第2回学校支援会議(5月15日) ・市立図書館発行の児童向け資料「子どもとしゃかんだより」を配布①
6月	<ul style="list-style-type: none"> ・企画展 ・新刊、課題図書の購入と紹介 ・企画展示 ・市図書費購入リスト作成 ・環境構成 	<ul style="list-style-type: none"> ・各学級にて図書の紹介 ・低学年各教室にて読み聞かせ ・環境構成手伝い 	<ul style="list-style-type: none"> ・第3回学校支援会議(6月18日)
7月	<ul style="list-style-type: none"> ・夏休み特別企画展示 ・夏休み貸出図書の準備 ・夏休み貸出 ・館内整理 	<ul style="list-style-type: none"> ・館内整理 	<ul style="list-style-type: none"> ・市立図書館で行われる児童向けイベントや、企画展示の情報提供 ・「子どもとしゃかんだより」配布②
8月	<ul style="list-style-type: none"> ・耐震工事による教室移動にむけて汚損・破損資料の除籍作業 		<ul style="list-style-type: none"> ・8月6日「学校図書館に係る合同研修会」 ・パネルシアター研修
9月	<ul style="list-style-type: none"> ・杉並文庫受け入れ ・夏休み貸出図書の返却 ・延滞図書の督促 	<ul style="list-style-type: none"> ・夏休み中の貸出図書の返却 ・前期委員会活動の反省 ・委員会組織見直し 	<ul style="list-style-type: none"> ・第4回学校支援会議(9月11日)
10月	<ul style="list-style-type: none"> ・読書感想文コンクール ・読書週間にむけた特別企画展示準備 ・企画展示 ・環境整備ボランティア発足 	<ul style="list-style-type: none"> ・中学年への読み聞かせ本の選書と練習 ・読書週間企画展示の準備 	<ul style="list-style-type: none"> ・第5回学校支援会議(10月15日) ・市内各学校図書館見学(10月29・30日)
11月	<ul style="list-style-type: none"> ・読書感想文紹介 ・読書週間と合わせたプロジェクト作成 ・環境整備ボランティア開始 	<ul style="list-style-type: none"> ・読書週間企画展示について全校生徒への呼びかけ 	
12月	<ul style="list-style-type: none"> ・冬休み特別企画展示作成 ・冬休み貸出図書の準備 ・冬休み貸出図書 	<ul style="list-style-type: none"> ・冬休み貸出図書の準備 ・企画展示 	<ul style="list-style-type: none"> ・第6回学校支援会議(12月17日) ・「子どもとしゃかんだより」配布③
1月	<ul style="list-style-type: none"> ・冬休み貸出図書の返却 ・延滞図書の督促 	<ul style="list-style-type: none"> ・冬休み貸出図書の返却 	
2月	<ul style="list-style-type: none"> ・今年度の貸出終了 ・移動教室の準備 ・次年度の準備開始 	<ul style="list-style-type: none"> ・委員会の反省 	<ul style="list-style-type: none"> ・第7回学校支援会議(2月18日)
3月	<ul style="list-style-type: none"> ・年間計画の反省・改善 ・移動教室の準備 ・次年度の準備 ・閉館 	<ul style="list-style-type: none"> ・環境整備 	<ul style="list-style-type: none"> ・「子どもとしゃかんだより」配布④ ・第8回学校支援会議(3月25日)

4 本年度の主な活動内容

(1) 1年間の目標

- ・全ての児童が本を手にとれるような環境構成を行う。
- ・1ヶ月に児童1人当たり2冊。年間24冊以上の貸出を目指す。

(2) 1年間の活動記録

4月

[学級文庫の配架]

気持ちよく新年度が迎えらるような環境づくりを行う。春休み中に学級文庫の入れ替えや、破損図書のチェックなどをして、新しい教室にある学級文庫に興味を持てるようにした。特に新入生には、楽しい雰囲気と読みやすい環境などに配慮した。

[オリエンテーション]

手作り教材を使用してのオリエンテーションを実施。昨年度は、希望クラスのみであったが、

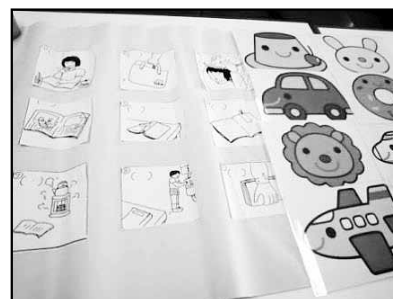
今年度は全クラスを対象に行った。教材は低学年、中学年、高学年向けと対象学年に合わせて使用。6年生は分類の説明後、実際にレファレンス体験をして理解を深められるよう配慮した。

[オリエンテーションの目的]

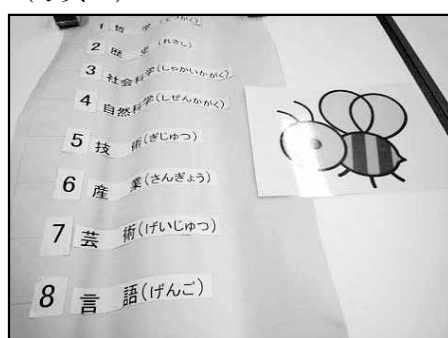
- ・学校図書館は楽しい場所であり、役に立つ情報が沢山あることを知ってもらう。
- ・学校図書館を利用するためのルールやマナーについて知ってもらう。(写真1)

写真1

低学年が楽しく考えられる〇×クイズ。グループわけをし、図書室でのお約束の話をした。



(写真2)



(写真3)



写真2・3
NDCのしくみについて学ぶ。

[逐次刊行物の導入]

今年度より逐次刊行物を購入することになった。雑誌については先生方の希望を確認後、図書担当教員と話し合い、理科への興味を深めることを目的とした『たくさんのふしぎ』『かがくのとも』『子どもの科学』などの雑誌や新聞を含めて10種類を購入することになった。

また、『子ども新聞』は図書委員会手作りのファイルに綴じ、毎朝担当児童が新聞を取りにきて綴るように決めた。このことにより、必ず誰かが新聞記事に興味を持ち、身近にある情報に親しむ姿を見ることができた。『子ども新聞』については、高学年の教室前に設置をしている。(写真4)



写真4
多くの児童が手に取りやすいよう工夫した。

5月

[放送による読み聞かせ開始]

毎週金曜日の給食の時間に、全校児童に向けた校内放送による読み聞かせを実施することになった。今年度の最初のお話は、新入生が楽しめるように『おおきなかぶ』を選んだ。

放送による読み聞かせは、その季節にあったお話や話題に関連したお話などを選ぶこともあり、時には風習や風土の説明や紹介を入れることもあった。今年、世界遺産に登録が話題となった富岡製糸場に合わせて『たぬきのいとぐるま』を読んだあとも説明や紹介を入れた。(別紙3)

[支援クラスの読み聞かせ]

毎月1回、道徳心の向上を目的とした読み聞かせの授業を行った。「人を騙すってどんな気持ち?人をばかにすることや、逆にばかにされたらどう思うか?そんな時はどうする?」など毎回テーマを担当の教諭と話し合い、希望に合う本を選書した。

また、読み聞かせ授業の後半には、ワークショップもとりいれ楽しみながら学べる時間を作った。

(例)『あたし、ウソついちゃった』～ウソをつくるとどんな気持ち?～

『しんでくれた』～感謝の気持ちを知ろう～

ワークショップ “自分の良いところを实らせよう”

- ① カラフルな自分の木に自分の良いところをシールに書いて木に貼っていこう。
- ② 自分の良さに気がつき、価値を知ること、自分自身を大切にしよう。
- ③ 担当教諭が周りの友達の良いところを知ることの指導を補ってくださって、更に良い授業へと展開していったように思う。

この支援クラスの読み聞かせの活動は、「クラスだより」でも紹介していただいた。

6月

[学校図書館以外の図書館を知る]

1年生38名と引率教諭3名が市立中央図書館に来館。事前に担当教諭と打ち合わせをし、タイムスケジュールを作成して配布した。市立図書館は、みんなの図書館(公共施設)と紹介をしながら、各自が市立図書館内のさまざまな設備などを発見できるようなプリントを作り、館内案内をした。(別紙4)

[企画展示を楽しむ]

この時期、大人も子供も夢中となったサッカーワールドカップの企画展示を物語の部屋前に設けた。支援
写真5 企画展示に興味を持ち、足を止める児童活動当初より、この場所でさまざまな企画展示を開催してきた。世の中のニュースやさまざまな情報は、本だけではなく、あらゆる方法で提供をして児童に伝えていくことを目的としている。(写真5)



[慎重な選書]

震災から3年が過ぎ、児童たちを取り巻く環境も少しずつ回復の兆しが見えてきた。これからは、どのような情報を伝えていけば良いのか、支援員の立場として考えることも多々ある。選書もその1つといえる。このような場合は、第三小学校の先生方に相談することもある。今回は、防災や震災関連の図書を購入するにあたり、スクールカウンセラーの先生にも相談をした。非常に有難いアドバイスや、力強い言葉をかけていただき、選書へと進むことができた。

7月

[図書館だよりの発行]

学校図書館年間活動計画に従い、市立図書館発行の「子どもとしゃかんだより(低・高学年版)」以外にも、図書担当の先生と話し合った結果、学校図書館の様子や本の紹介などを多くの児童や保護者に知っていただくためにも「原町第三小学校版図書館だより」を発行することになった。記念すべき初版は、(別紙5)となる。

9月

[クラブ活動の指導支援]

図書委員会同様、読書クラブに支援員も参加をし、児童の読書推進支援を行っている。クラブ活動では、読書タイムの他に、図書と関連したワークショップも取り入れ、本に親しむきっかけを作っている。実際に読書クラブの活動によって、さらに本に関心を寄せ、積極的に本を借りに来る児童や図書委員を希望する児童もいた。(写真6)

写真6

読書の時に使うマイしおり作り

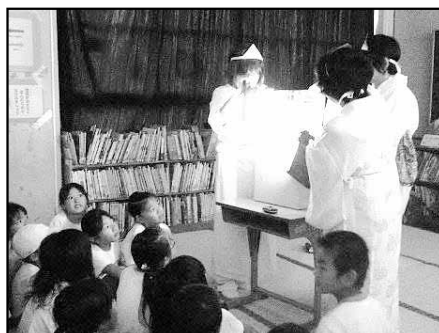


[読み聞かせボランティアの紹介]

毎月第一水曜日の昼休みに、読み聞かせボランティアの「ひま・ワニ」さんが来校し、児童を楽しませてくれる。支援員も読み聞かせやわらべ歌など、その時の要望に合わせて協力している。(写真7)

写真7

「夏といえば…」をテーマに実施。
児童たちが物語の世界に引き込まれていった。



10月・11月

読書週間を兼ねたイベントもあり二ヶ月にわたっての計画作りが行われた。

[大きく育て！三小の木プロジェクト]

読書週間にあわせた企画として、物語の部屋の前に各学年の大きな木を作った。自分たちが読んだ本の中から、心に残った物語や友達にも教えてあげたい本を紙で作った葉っぱに書いて紹介していった。

準備に時間や手間がかかるプロジェクトだったが、図書委員会が積極的に企画展の製作に携わっており、児童自らが活気のある学校図書館へと変えていった。(写真8)



写真8

出来上がった三小の木

[福島県の小学校として伝えたいこと]

県内のお米は玄米の放射性物質に対する全袋検査が行われている。食の安全や不安についての議論が報道でも多く聞かれているが、それ以外の情報もしっかりと子どもたちへ提供したいと考え、今回の企画展を開いた。

収穫の喜びを知り、それができるまでの過程を子どもたちに伝えていくことが今回の目的である。
(写真9)



写真9 5年生のバケツ稲の授業の紹介とコラボで、「ハイ、チーズ！」

[市内学校図書館見学]

支援活動の向上と共通理解を深めるために、南相馬市内の小・中学校を訪問した。それぞれの学校の環境や特色を生かした学校図書館は、大変学ぶことが多かった。校舎が耐震工事中の工夫や、準備なども知ることができた。

[保護者によるボランティアの発足]

10月に呼びかけ、11月よりスタート。主に、耐震工事の学校図書館の移動準備とした環境整備活動を行う。



写真10

杉並区からの寄贈本『アンネ・フランク』も一緒に紹介する。

12月

[人権を知る・世界や周りに目を向ける]

12月10日の人権デーに合わせた企画展。広い世界に目を向ける小さなきっかけとなるように開催。(写真10)

[冬の企画展・ブックツリーの作製](写真11)

写真11

選書は、ブックハンターと称した図書委員会が行った。



写真12

正座をして読書をする児童

1月

[畳の部屋がある図書室]

入室の時に脱いだ上履きを揃えるよう、支援員が声をかけて、履物について自分で気がつくようにしていた。上履き指導では、心が落ち着く畳の空間を保つような指導を心がけた。(写真12)

2月

[季節の企画展示](写真13)(写真14)



写真13

2月3日の節分に合わせて関連本を展示した。



写真14

3月3日の桃の節句の展示。

3月

図書館閉館

次年度に向けて開館準備

5 中央図書館サポート職員による支援内容

- ・ 杉並文庫の選書アドバイス (本の分類確認) および発注処理
- ・ 市図書費の選書アドバイス (本の分類確認) および発注処理
- ・ 原町第三小学校に1月から3月まで学校図書館支援員担当者の代理として出向
貸出・返却業務
季節の企画展示
絵本の読み聞かせ
除籍作業
図書室内の資料の整備

6 学校図書館利用実績

(1) 年間貸出冊数

① 個人貸出冊数

	1年	2年	3年	4年	5年	6年	月合計	1人当たり
4月	-		-	-	-	-		-
5月	-	77	202	46	13	1	339	1.2
6月	-	25	225	26	0	11	287	1.0
7月	96	118	215	83	41	7	560	2
8月	-	-	-	-	-	-	-	-
9月	1	67	128	5	0	9	210	0.8
10月	75	73	63	15	1	7	234	0.8
11月	128	28	70	54	0	4	284	1.0
12月	100	96	160	124	61	58	599	2.1
1月	61	10	27	0	0	7	83	0.3
2月	38	7	12	0	0	0	45	0.2
3月	-	-	-	-	-	-	-	-
学年合計	499	501	1102	353	116	104	2641	9.4

※ 1人1冊1週間の貸出

冬休みの貸出は1人2冊まで

3月は来年度の準備のため閉館し、貸出は行わない

② 学級文庫貸出冊数

	1年 (2クラス)	2年 (2クラス)	3年 (2クラス)	4年 (2クラス)	5年 (2クラス)	6年 (2クラス)	支援 学級	月合計	1クラス当たり
4月	0	0	0	0	0	0	0	0	0
5月	160	208	189	210	210	290	112	1379	106
6月	10	0	0	0	0	0	0	10	0.7
7月	57	10	3	0	0	10	0	70	5.4
8月	0	0	0	0	0	0	0	0	0
9月	0	0	0	0	0	0	0	0	0
10月	0	0	0	0	0	0	0	0	0
11月	0	0	0	0	0	0	0	0	0
12月	0	0	0	25	0	0	0	25	1.9
1月	60	0	0	0	0	0	0	60	4.6
2月	0	0	0	0	0	0	0	0	0
3月	-	-	-	-	-	-	-	-	-
学年合計	287	218	192	235	210	300	112	1544	118.6

③ 調べ学習等貸出冊数

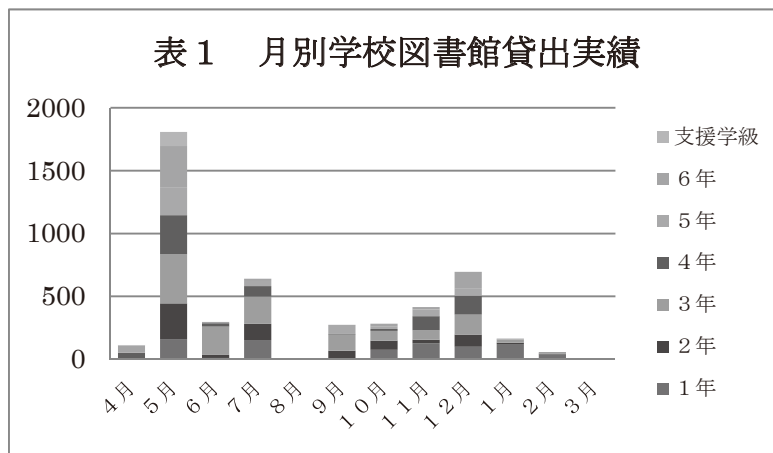
	1年 (2クラス)	2年 (2クラス)	3年 (2クラス)	4年 (2クラス)	5年 (2クラス)	6年 (2クラス)	支援学級	月合計	1クラス当たり
4月	-	-	-	53	-	56	5	114	8.8
5月	0	0	0	54	0	36	0	90	6.9
6月	0	0	0	0	0	0	0	0	0
7月	0	0	0	0	0	0	0	0	0
8月	0	0	0	0	0	0	0	0	0
9月	0	0	0	0	64	0	0	64	4.9

10月	0	0	15	0	16	18	0	49	3.8
11月	0	0	5	58	53	15	0	131	10
12月	0	0	0	0	0	71	0	71	5.5
1月	0	0	0	0	0	0	0	0	0
2月	0	0	0	0	0	0	0	0	0
3月	0	0	0	0	0	0	0	0	0
学年合計	0	0	20	165	133	196	5	519	39.9

※ 国語の教科書に掲載してある本の貸出は、学級文庫として貸出

(2) 学校図書館利用実績

今年度の学校図書館の貸出実績は次のとおりである。(表1)



個人貸出(表①)は高学年よりも低学年のほうが貸出冊数の多いことがわかる。高学年の児童についても、4年生までは積極的に本を借りていたが、高学年になると極端に貸出冊数が減少している児童が多くいる。学校生活での責任分野が増え、学校図書館に足を運ぶきっかけが少なくなっていることも事実だが、他にも好きな読書の分野や作家が出てきたことも考えられる。これらの児童に対しての対応に力を入れていく必要があると考える。

学級文庫にいたっては、貸出開始の5月に全クラスに配本をしているが、それ以降は入れ替えが行われない状況なので、改善していきたい。また、調べ学習の資料提供にも力を入れていく必要がある。

今年の5月の貸出数を見ると、4月に実施した学校図書館オリエンテーションの効果があつたように思う。このような活動を行うことで、貸出冊数の増加や学校図書館の利用促進につながったことが推測される。来年度も継続して学校図書館オリエンテーションを実施していきたい。

7 本年度の成果及び来年度に向けた課題

(1) 本年度の成果

児童の学校図書館への理解が深まり、館内におけるルールやマナーが依然よりも良くなった。それと同時に、本を借りる楽しさを知った児童が増えてきたようだ。今年度より購入を開始した逐次刊行物にも興味を持って活用している。

例を挙げると、休み時間に図書室に遊びにきて『月刊 Piano』(雑誌)を借り、隣の音楽室で雑誌内に掲載されていた人気の曲を弾く。学校で飼育しているウサギを世話していたら、ウサギに興味を持ち、もう少しいろいろなことが知りたくなったという児童は『うさぎと暮らす』という本を借りるなど、本がより、身近で気軽に情報を得る資料となった。

また、調べ学習の資料においては、先生から授業に関する資料依頼を受けると、昨年度までは

学校図書館には資料が少なく、市立図書館の資料貸出がメインとなっていた。しかし今年度は、学校図書館に不足していた資料を中心に購入していったことで、次の時間にはクラスに届けられるという迅速な対応が可能となった。

なお、今年度においても、学校図書館のみでは資料数に限りがあるため、不足分は従来通り市立図書館から借りて補っている。

(2) 来年度に向けた課題

今年度より、本格的な貸出統計を市内の学校で一斉にとることとなったが、学校図書館での管理体制を従来通りにしていたため、統計にてまどうことも多々あった。児童の貸出ファイルについても、借りない時は教室で各個人が管理をしており、途中で紛失したという相談もあった。

来年度の貸出・返却の管理体制について、担当の先生とも話し合い、スムーズに学校図書館運営の支援が行えるようにしていきたい。量の部屋の空間についても、児童がより心地よく、なおかつ利用しやすいように工夫や改善に力を入れていくことが今後の課題といえる。